

ティーチング・ポートフォリオ

筑波学院大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科

野田 美波子

教育の責任

科目名	対象 学年	受講 人数※	授業 形態	必修 選択	科目区分 (カリキュラムにおける位置づけ)
映像制作・編集 A	2-4	56	演習	選択	専門基礎科目群 コース科目 (メディアデザイン)
映像制作・編集 B	2-4	53	演習	選択	専門基礎科目群 コース科目 (メディアデザイン)
表象文化論	2-4	37	講義	選択	専門基礎科目群 共通科目
アニメと映像 A	2-4	45	講義	選択	専門基礎科目群 コース科目 (メディアデザイン)
アニメと映像 B	2-4	25	演習	選択	専門基礎科目群 コース科目 (メディアデザイン)
ゲームプランニング	3-4	7	演習	選択	専門基礎科目群 コース科目 (メディアデザイン)
キャラクターデザイン	2-4	24	講・演	選択	専門基礎科目群 コース科目 (メディアデザイン)
アニメーション基礎	2-4	21	演習	選択	専門基礎科目群 コース科目 (メディアデザイン)
映像と文化	2-4	91	講義	選択	専門基礎科目群 コース科目 (メディアデザイン)
ゲームディレクション	2-4	20	演習	選択	専門基礎科目群 コース科目 (メディアデザイン)
卒業研究	4	13	演習	選択	卒業研究
メディアデザイン演習 B1	3-4	20	演習	選択	専門発展科目群 コース科目 (メディアデザイン)
メディアデザイン演習 B2	3-4	17	演習	選択	専門発展科目群 コース科目 (メディアデザイン)
メディアデザイン基礎	1-4	124	講・演	選択	総合教養科目群 教養科目

※受講人数は過去の実績による平均受講人数

教育の理念

学生がアニメーション、映像等のデジタルコンテンツ制作における表現手法を研究し、知識、技術を習得することを目標に授業を行なっている。そして、コンテンツ制作を通してディレクション能力、プロデュース能力、コミュニケーション能力、問題解決能力を身につける事によって、幅広く社会に役立つ人材を育成し地域、社会貢献を行うことを教育理念としている。

教育の方法

演習授業の映像編集・制作 A・B、アニメーション基礎、アニメと映像 B では、映像表現に関する基礎的な知識を学び、メディアデザイン演習 B1, 2 ではこれらの授業で身につけた基礎を応用してオリジナ

ルコンテンツを制作する。

講義授業では、単なる映像文化の歴史や文化論ではなく、実際に映像コンテンツ制作を行う上での考え方に役立つような授業を行うよう心がけている。

ゼミでは学生一人一人が作家としてコンテンツを制作し、地域に一般公開し、評価してもらうことを目標として制作を行う。

課外授業では、地域貢献や社会貢献のためにコンテンツ制作を行い、学生自身が社会の一員であるという自覚を形成する。

教育の成果 および 今後の目標

課外授業で行っている社会貢献活動についての成果。

- ・2016年わがまちCMコンテストで学生作品「パンのまちつくば」が優秀賞。
- ・2017年ショートムービコンテストつくっぺで学生作品「シュウカツセイ」が観客賞。
- ・2018年いばらき県結婚子育てポジティブ動画コンテストで学生作品「赤ちゃんの魔法」がグランプリ。
- ・2018年備中備前デニム動画コンテストで学生作品「デニムはジーンズだけじゃない」が優秀賞。
- ・2020年北関東ビデオコンテストで学生作品「Mito Natto Food Journey」が入選。

また、2016年から映像研究室とデザイン研究室が共同で行なっている NPO 法人日本イラク医療支援ネットワークのプロモーション動画、マスキングテープ、ポスターカードなどの制作や募金活動を通して学生は国際人道支援にも関わっている。

このような実績、成果を後ろ盾にし、映像業界やコンテンツ業界に就職する学生が着実に増えてきていると実感している。今後は、業界の一線で活躍できるような人材を育成できるように一層努力していきたい。

参考資料

1. パンのまちつくば
<https://www.youtube.com/watch?v=pKrxIJc-E8I>
2. シュウカツセイ
<https://www.youtube.com/watch?v=-1JPrJhH5oU>
3. 赤ちゃんの魔法
<https://www.youtube.com/watch?v=dTn3kLf0Uh4>
4. デニムはジーンズだけじゃない
<https://www.youtube.com/watch?v=h7ZjP9f08gI>
5. Mito Natto Food Journey
<https://www.youtube.com/watch?v=SFVCVXPioWI>

朝日新聞 2018年1月16日記事

2018 1/16 (火)

筑波学院大生が制作、募金も

「中東の子ども救うチョコ」動画に



募金を主催するのは医師の鎌田實さんが代表を務める団体「JINTEN」(シムネット)。有志に1箱550円の缶入りチョコレートを買ってもらい、米軍の劣化ウラン弾の影響が疑われる小児がんで苦しむイラクの子どもや、シリアの難民支援に役立てる。理念に共感した野田美波子講師(39)が歌の制作を別の教員に依頼。若松音於さん(20)、菊池笑加さん(20)、関根彩さん(19)の3年生3人が歌唱とアニメーションを担当した。

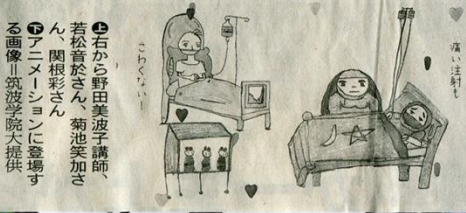
筑波学院大の学生3人が、チョコレートで病気に苦しむ中東の子どもを支援する活動をPRする動画をつくった。バレンタインデーが近づく来月3日、学生たちはつくは市内で動画を上映しつつ、募金活動を行う。

現地の子の絵を題材

「という歌詞を何度も繰り返す。「まず、楽しんで関心を持ってもらうことが必要だ」と野田講師は語る。

絵を描いた子どもたちの中には「私は死にます。でも幸せです。私の絵を皆さんに見てもらい、多くのイラクの子どもたちが助かることを願っています」と遺言を残して世を去った女の子もいる。若松さんは「自分と同じ年頃らしいのに、なんて強いのだろう」と感銘を受けた」と言う。

募金は2月3日午前11時から、つくは都市交通センター。問い合わせは筑波学院大(029-8558-4811)。動画(<https://youtu.be/v3lTYm66sg>)はシムネットのホームページから閲覧できる。(鹿野幹男)



④右から野田美波子講師、若松音於さん、菊池笑加さん、関根彩さん
⑤アニメーションに登場する画像は筑波学院大提供